

# 6-1

## 論理展開を意識した表現を使おう

プレゼンテーションでは、あなたが「伝えたい」と思うことが、聴き手に「伝わる」ことが重要です。そのためには、序論・本論・結論を通して、プレゼンテーション全体の目的・構成や論理展開などを分かりやすく示すことが大切です。その手段として、以下のような表現を取り入れましょう。

### 序論の表現

序論では、発表者の問題意識やプレゼンテーションの目的をはっきりと示しましょう。また、聴き手の理解を深めるためには、これから始まる発表の全体像(どのような流れで発表が行われるのか)についても、簡潔に伝えておくことが重要です。

#### ● 問題意識、発表の目的を伝える

例) これから、～についての発表を始めます。／本発表は、～を明らかにすることを目的にしています。

#### ● プレゼンテーション全体の構成を伝える

例) この発表では、最初に～、次に～、最後に～、／1番目に～、2番目に～、

### 論理展開を示す表現

論理展開とは、「なぜ、その結論が言えるのか」を示す、事実や前提の組み立てのことです。聴き手に分かりやすく伝えるためには、「前後の関係を明確にする」「根拠をはっきりと示す」「特に重要な点を強調する」など、表現の工夫が大切です。また、接続詞(つなぎ言葉)の的確な使用も、論理展開を明示するよい方法です。

※ 接続詞の使い方については、『Master of Writing(5. レポートを論理的に書く)』を参照してください。

#### ● 前後の関係を明確にする

〈参照する〉 先ほど説明したとおり、／これは～と関連しています。／～を思い出してください。

〈対比する〉 ○○とは対照的に、／一方で、／他と比較すると、／～の場合と比べて、

〈例を挙げる〉 具体的には、／例えば、／例を挙げます。／これは～ということを示すよい例です。

〈話を移す〉 次は～について説明します。／話を戻します。

#### ● 根拠を示す

例) その根拠となるデータは～、／××教授の研究によると～、／これには3つの理由があります。

#### ● 重要な点を強調する

例) ここで一番重要な点は、／この点について強調しておきます。

### 結論の表現

結論では、まとめや最終的な主張を明快に述べましょう。その際、序論で示した問題意識やプレゼンテーションの目的に対応した結論になっていることが重要です。

#### ● 結論を明確に示す

例) 結論として、／この結果、／まとめると、／要するに、／従って、